

<h1>ネイチャー・ウォーク</h1>	令和5年7・8月合併号	
	2023.7.23発行	
	(通巻第355・356号)	
ECO SAITAMA	公益財団法人 埼玉県生態系保護協会	部会：自然を歩く会

■6月のネイチャー・ウォーク

グッドファーザー～内洞沢棚田～

東武東上線武蔵嵐山駅～川越観光「五丁目」バス停

梅雨の晴れ間に恵まれた2023年6月18日(日)父の日
に開催したネイチャーは東武東上線武蔵嵐山駅から、嵐山
町・小川町に残る歴史や自然を散策するコース。今回は15
名の方が参加しました。武蔵嵐山駅ではツバメのお出迎えで
す。



杉山城跡の前で、はい、チーズ!



杉山城跡までの道中はウグイスやホトトギスのさえずりが応援団。
ネジバナやヒメコウゾなど、道中を楽しませてくれました。



ネジバナ



ヒメコウゾ

さあ杉山城跡に到着です。杉山城跡は戦国時代の山城跡で、鎌倉街道を見下ろす丘陵にあります。横堀や帯郭に囲まれておよそ10の郭（くるわ）が尾根上に配置されています。



上り下りの多さと暑さで大変でしたが皆さん興味深げに進んでいきます。



井戸跡に到着。しばしー休みです。
年中枯れないという水の中には
羽化間近のヤゴがいました。



本郭に到着。登り切った達成感と共にどんな建物が当時建っていたのか思いをはせています。

昼食後は内洞沢（うちほらさわ）棚田へ向かいました。お昼ごろから太陽が出てきて暑さに拍車がかかりましたが、住宅街を通り抜けたところに冒険心をくすぐるトンネルが出現し、一堂心がおどります。



トンネルを抜けるとそこが内洞沢棚田。この棚田は遠ノ平山からの豊かな水が流れる谷津を利用した棚田で、周囲の土地が太陽光発電の計画地になるなどしている中、多くの人の協力によって美しい水田景観が維持されています。「ホタルの里」として知られているようで、田んぼにはカワニナがたくさんいました。



カワニナ（左、下）とヒメタニシ（右）
因みに参加者の情報によると初夏の季語に「になの道」があるそうです。

準絶滅危惧種のコガネグモ。「開発は×」の×に見えてきます。

オタマジャクシ（ヌマガエル）も気持ちよさそうに泳いでいました。



トンネル内の水路にはシジミもいました。

皆さん暑い中お疲れ様でした。
次回もよろしくお願いいたします。